

# 日本組織培養学会

## 会員通信 第 1 1 号

昭和 4 3 年 1 2 月 2 0 日発行

発行責任者

佐藤 二郎

喜多村 勇

岡山市岡 1 6 4

岡山大学医学部 癌源病理

☎ 7 1 5 1 小児科

### 第 2 6 回日本組織培養学会研究会 ( 1 9 6 8 年 1 1 月 1 5 . 1 6 日 )

東北大学抗酸菌病研究所山根紘世話人によって開催された。シンポジウムは「細胞の培養技法」(座長山根紘, 安村美博) で 1 ) 培地添加血清の問題, 2 ) 培養培地の問題, 3 ) 正常上皮細胞の分離培養・継代 4 ) 人癌細胞の分離培養・継代について討議された。

### 次回第 2 7 回日本組織培養学会研究会

期 日: 昭和 4 4 年 5 月 1 6 日 ( 金 ), 1 7 日 ( 土 )

場 所: 東京都文京区小石川 4 丁目 エーザイ講堂

世話人: 国立がんセンター研究所 関口豊三

シンポジウム テーマ

「組織培養における細胞遺伝学的研究」

司会者 吉田俊秀氏 ( 国立遺伝研 )

杉村 隆氏 ( 国立がんセンター生化学 )

「組織培養において、細胞癌化は永遠のテーマである。この細胞癌化を含む、それと密に関連した哺乳動物細胞の遺伝学的研究を一つにまとめ、種々の角度からこの問題の解明に当たりたいと念じます。その様な目的で今回は、発癌過程の染色体レベルでの解析、Cell Fusion 法に依る染色体機能の発現、更には、細胞レベルより分子レベルへの追求を試みてみたいと思います。司会者として染色体レベルの面を吉田俊秀氏に、分子レベルの面を杉村隆氏にお願いし、一つの演題について両方の面からの論議を進めてみたいと思っています。」関口豊三

### ＜＜幹事会からのお知らせ＞＞

仙台で開催された第 2 6 回研究会に先立って、幹事会を開き、現在の学会のもっている種々の問題点について討議を行いました。それらのうち、総会において了承された事項についてお知らせします。

#### (1) 幹事会に関すること

- a. 幹事が外国出張等で、学会開催にまたがる期間留守にする場合は、その年度の次点者が幹事を代行することになりました。代行幹事は、代行任期終了後にも被選挙権を失いません。今年 8 月に奥村幹事が米国に出張されましたので、その代行として、本年度東部次点者佐藤温重氏がなりました。
- b. 幹事会世話役をおくことになりました。その主な仕事は、幹事会記録の保管、連絡、幹事会及び総会の議長を行うことです。世話役は、幹事会の互選で選出し、任期は 1 年 ( 4 月 ~ 3

月)とします。本年度の世話役として、黒木幹事が互選されました。

c. 幹事の改選は、会員名簿完成後1月～3月の間に行います。今度改選される幹事は次の通りです。

東部 奥村秀夫, 黒木登志夫 西部 井上幸重, 堀川正克  
選挙担当幹事堀川正克氏より近いうちに会員諸氏に連絡があることと思います。組織培養学会の誇るユニークな運営法の一つですので棄権されないようにお願いします。

(2) 会費について

別項の会計報告にあるように、現在の会費では、赤字運営となってしまいます。また、学会資金のうちの会費収入の部分が余りに少くすぎ、現在の状態では会員が増えると、それだけ赤字が増えることとなります。

会費を現在の500円から1,000円に値上げする案が提出され、総会で了承されました。来年度から実施されます。なお、会費未納者も少くありませんので、未納の方は高岡幹事まで至急払いこんで下さい。

(3) 研究会、シンポジウムについて

次回第27回研究会は別記の通りです。

次々回第28回研究会は、奈良医大塚良義彦氏のお世話で、秋に開かれます。シンポジウムは未定です。

なお従来、春は関西、秋は関東で研究会を行ってきましたが、今後は一年に一回は東京(関東)で行うことを原則とすることにしました。

シンポジウムの記録を雑誌等に発表するときには、その印刷をまとめて会員全員に配布するようになりたいと思います。昨年秋の第24回研究会のシンポジウム「培養技法最近の進歩」及び「クローン培養による哺乳動物細胞の生物学的研究」は、それぞれ、佐藤温重氏、奥村秀夫氏の努力により「化学と生物」「医学のあゆみ」の両誌に連載されましたが、近く、別刷をまとめて製本し発送いたします。このための費用は、原稿料をもって当てる方針ですので、各執筆者の御了承を頂きたいと思っております。

シンポジウムテーマについての御希望を幹事までお寄せ下さい、今後の参考にしたいと思います。

(4) 株の維持について

山根教授の努力により、現在維持されている株細胞のリストが第26回研究会抄録に載っております。今後、株保存についても組織培養学会として積極的に取り組む必要があると思っております。まだ具体策はありませんが、近い将来において、何らかの方針を出す予定です。

(附表 山根 纈教授提供)

使用全動物臓器

臓器名	件数	臓器名	件数	臓器名	件数	臓器名	件数
腎臓	34	歯肉	3	脾臓	1	前立腺	1
神経	8	胃	3	甲状腺	1	骨髄	4
肺	8	脳	2	下垂体	1	交感神経	1
脾臓	7	心臓	2	副腎	1	胎盤	1
皮膚	6	歯髄	2	睪丸	1		
肝臓	5	皮下	2	卵巣	1		
胸腺	5	脊髄	1	子宮内膜	1	合計	102

使用齧歯類臓器(アダルト)

	ウサギ	ラット	ハムスター	マウス	モルモット
神経		4		2	1
心臓		1			
肺		3	1		
胃		1			
腎臓	1	2	5	4	1
副腎				1	
肝臓		3		1	
脾臓		2		3	
骨髄				2	
皮膚				1	
皮下		1			
胸腺		2		1	
下垂体				1	
前立腺		1			
合計	1	20	6	16	2

使用動物臓器(ヒト及びニワトリ)

臓器名	ヒト		ニワトリ	
	胎児	成人	胎児	成鶏
小脳	1			
脊髄	1		3	
神経		2		1
心臓	1		2	1
肺	3	2	1	
胃	1	1		
腎臓	3	3		
肝臓				1
脾臓				1
筋肉	1		4	
骨		2	2	
皮膚	1	3	2	1
胸腺	1			1
羊膜	1		2	
甲状腺				1
歯肉		3		
歯髄		2		
睪丸		1		
卵巣		1		
子宮内膜		1		
胎盤		1		
合計	15	23	16	8

Natural Media

Media	Litre/year	Lab. No.
LE	4914	12
YLE	2315	21
LH	1548	7
YLH	514	12
LD	130	3
SLE	60	1
Total	9481	56

Synthetic Media

Media	Litre/year	Lab. No.
Eagle MEM	8004	66
Medium 199	3473	39
F-10	220	6
RPMI	134	3
Medium 109	100	2
Fischer-Leibovity	77	4
F-12	25	3
DM-120	20	1
Amphibian M.	12	1
Mccoy	10	1
Gey	10	1
BGID & DGJG-HW <sub>2</sub>	10	1
Total	12095	128

(5) 新入会員

今回承認された新入会員は次の通りです。

松谷 豊 (東北大学抗酸菌病研究所微生物)

神保勝彦 (日水製薬)

賛助会員

協和純粋株式会社

科研薬化工業株式会社

後藤正義 (同左 癌研究部)

名和橙黄雄 (信州大学解剖学教室)

豊島製作所

北海計量器

以上文責 黒木登志夫

LABORATORIUM VOOR CELBIOLOGIE EN HISTOLOGIE  
DER RIJKSUNIVERSITEIT TE LEIDEN  
HOOGLERAAR: PROF. DR. P. J. GAILLARD.

Dear Professor Nakai,

I inform you that the name of the European Tissue Culture Club now has changed into European Tissue Culture Society. The present secretary is Dr. H. Stähelin, Medizinisch Biologische Forschung, Sandoz A.G., Basel, Switzerland.

Yours sincerely, P. J. Gaillard.

(1967. 6. 19, 中井準之助氏より提供)

43年度会計の中間報告

収入の部

前年度くり越し 26,084

賛助会費 180,000 (40,000)

会員会費 52,500 (23,000)

文部省助成金 (220,000)

銀行利息 2,620

その他 21,449

計 282,653 (283,000)

支出の部

刊行費ビブリオグラフィ (450,000)

名簿会員通信 322,688 (50,000)

事務費 6,580

郵送費 940 (50,000)

学会運営費 19,594 (30,000)

(将来計画費・費用など)

その他(選挙費用など) 4,505 (10,000)

( )の中の数字は予定額です。

63,887 (590,000)

11月15日現在では¥218,766が残額となっていますが予定額を含めて差引きしますと

¥88,234の赤字が見越されます。そこで会員の皆様に会費¥500の値上げを御了承頂きました。

会計幹事

◎ △会員住所変更

増田秀雄 新：甲南大学理学部生物学教室

神戸市東灘区本山町岡本

TEL 神戸(078) 43-4341 内 288

旧：大阪府立大学教養学部生物学教室

沖垣 達 新：Pasadena Foundation for Medical Research, 99

North El Malino Ave., Pasadena, California, U.S.A

91101

旧：国際キリスト教大学

△会員帰国便り

- 松山慎一(京府大第一内科)：私事昭和41年8月よりパリ・コレージュ・ドフランスに臓器培養の研修のために滞在しておりましたが、本年7月末日に無事帰国いたしました。
- 阪大、第二外科(陣内外科)の高井新一郎氏(会員)は米国PittsburghのDr. Liebermanの研究室に留学中でしたが7月4日に帰国されました。

△会員留学

- 会員の奥村秀夫氏は所属が次の通り変りました。  
国立予防衛生研究所ウイルス・リケッチャ部(内線328)また8月20日羽田発にて下記の研究室に留学しました。  
滞在は1年間の予定です。

HIDEO OKAMURA,

Laboratory of Biology of Viruses,  
National Institute of Allergy and Infectious Diseases,  
National Institutes of Health,  
Bethesda, Maryland 20014,  
U.S.A.

- 会員の古川利温氏(東大・小児科)はさる9月27日羽田発にてドイツへ留学されました。  
期間は1年の予定。

Dr. Toshiharu Furukawa  
Universitäts Kinderklinik,  
355 Marburg/Lahn Deutschhausstrasse 12,  
DEUTSCHLAND.

△外国会員通信

第25回研究会(京都)の席上で、英国のDr. Dame Honor B. Fellを本学会の名誉会員に推せんしたのに対し、その後同女史より学会に感謝の手紙がきましたが、その一部に面白い表現がありましたので、御披露します。

..... My certificate of Honorary Membership of the Association has been much admired by my colleagues. I appreciated this honour very deeply.....